

研究室 からの メッセージ

146

後列 左から 田邊, 金森, 上野
前列 左から 小林, 乗越, 千原

Data(2017年1月現在)

所在地: 〒811-4157 福岡県宗像市アスティール1

スタッフ: 乗越千枝(教授), 小林裕美(教授), 千原明美(助教), 田邊綾子(助教), 上野満里(助手), 金森弓枝(助手)

URL <http://www.jrckicn.ac.jp/>



日本赤十字九州国際看護大学 看護学部看護学科 ヘルスプロモーション・在宅看護領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、学校法人日本赤十字学園が全国に設置する大学として、2001(平成13)年に開学しました。また、世界189か国の国際赤十字の一機関としてそのスケールを生かした学修支援を行っています。日本赤十字社の看護教育は、1890(明治23)年の日本赤十字社病院における看護師養成に始まり、以後多くの優れた人材を輩出してきました。本学はその伝統を受け継ぎ、人間の生命と健康を守り、人間の尊厳を確保する人道の精神にもとづいて、看護・保健の専門家を育成しています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学部看護学科の定員は100名であり、保健師教育課程は3年次前期に18名が選考され、実践力強化のため、実習以外でもコミュニティにおける体験型学修を履修します。本学では初年次から卒業まで主体的な学修を可能にするきめ細かい支援体制を敷き、多彩な学修場所も準備しています。同時に、グローバル社会に貢献できる人材を育成する目的で設置した国際看護コースも選択することができます。また、大学院修士課程・博士課程に進学して高度実践者や教育者・研究者をめざすこともできます。

Research

どのような研究をしていますか？

地域で療養する人々や生活する人々の健康やQOLに寄与することを目的に、各教員がこれまで行ってきた研究を発展させ、個人、集団、地域を対象にしたヘルスプロモーション・在宅看護・地域看護分野の看護研究に取り組んでいます。現在は地域住民と協働して、住民が主体となって地域包括ケアシステム構築への課題を明確化し、問題解決や目標達成方法を開発するためのコミュニティにおけるアクションリサーチを進めています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

開学当初から、大学が所在する宗像市をはじめとする近隣の行政機関、地域の保健医療福祉関係者、地域住民の方々と連携・協働して、学生と教員が多数の地域看護活動を実践しています。また、国内のみならず諸外国の保健専門育成や国際保健活動を行っています。現在とはくに看護職として関係者とパートナーシップを構築し「誰もが最期まで自分らしい自立した生活が営める」地域づくりに貢献できるように、子育て支援、障がい者支援、介護予防、地域包括ケアシステムの構築などに取り組んでいます。

ひとこと

本学は看護教育の伝統を継承しつつ、科学的根拠を探索し専門職としての基礎を構築する看護基礎教育を行っています。また共同大学院やCNSコースなどの多様なコースワークが選択できる高度看護教育も実践しております。本学にご興味のある方は大学ホームページをぜひご覧ください。大学案内やオープンキャンパスなどの詳細についても掲載しています。

……乗越

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話, FAX, E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp